

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 11 日

評価対象事業		評価者	環境施設課担当課長 谷川 克也		
環境-10	重点事業	新焼却施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境施設課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	処理施設の整備及び適正管理を図るため。
効果	一般廃棄物の適正処理が図られる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ焼却施設建設に向けた先進都市の視察を実施した。</li> <li>・建設候補地周辺の自治町内会との建設に向けた話し合いを行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯			
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数				
	決算値(千円)	692	8	当初予算(千円)	4,650			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	692	8	一般財源	4,650			
	人員配置数	1.2	1.2	人員配置数	1.2			
事業経費運営	人件費(千円)	8,962	9,243	人件費(千円)	9,357			
	総事業費(千円)	9,654	9,251	総事業費(千円)	14,007			
	市民1人当りの経費(円)	55	52	市民1人当りの経費(円)	79			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	1. 成果は出ておらず、改善が必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	施設建設候補地周辺住民の理解を得るのに時間を要しており、予算規模は現状維持としていく。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市のごみ焼却施設を2箇所視察を行い、新ごみ焼却施設建設のための知見を得た。今後は、新ごみ焼却施設を平成37年度から稼働させるために、引続き地域住民との話し合いを行い、市民からの理解を得ながら事業を進めていくことが大切である。</li> <li>・また、話し合いの進捗状況に応じて予算措置が必要となる。</li> </ul>
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・建設候補地周辺11自治町内会で構成される「新ごみ焼却施設建設に反対する住民の会」との話し合いを進め、建設に対する理解を求めていく。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	・新ごみ焼却施設の建設に向けて理解を求めため、「新ごみ焼却施設建設に反対する住民の会」との話し合いを進めるとともに、可燃ごみの広域連携の可能性について検討した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・建設候補地周辺の自治町内会へ施設建設に向けた理解を得る。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向						備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--